

雑固体廃棄物焼却設備停止について

< 参 考 資 料 >
2016年8月10日
東京電力ホールディングス株式会社

■概要

- ・雑固体廃棄物焼却設備B系の二次焼却器出口伸縮継手部において2箇所ピンホールを発見したことから、受け皿を設置するとともに、点検のため、8月10日午前1時21分に焼却を停止した。
- ・当該ピンホールから1滴／1分の滴下が発見されたが、床面の滴下跡をスミヤロ紙で測定したところ、放射性物質濃度は、検出限界値未満だった。
- ・B系およびA系のバグフィルタ入り口伸縮継手部で割れが発見されたため起動中のA系を停止。
- ・当該設備および建物内は現在も負圧となっており建物の外への放射性物質の影響はない。
- ・雑固体廃棄物焼却設備の排気筒モニタ(ダストモニタ、ガスモニタともに)異常なし。
- ・建屋内のエリア放射線モニタ、並びに発電所構内ダストモニタ、モニタリングポストの指示値に有意な変動はない。

■時系列

8月8日 B系 3ヶ月点検終了し、起動

8月9日 A系 3ヶ月点検終了し、起動

22:20頃 B系の二次冷却器と排ガス冷却器の接続部分付近の床面で滴下跡発見

8月10日

1:21 B系手動停止

2:30頃 当該伸縮継手部以外の伸縮継手部を点検開始

2:57 B系ガス冷却器とバグフィルタ間の伸縮継手部において割れを発見

3:04 A系ガス冷却器とバグフィルタ間の伸縮継手部において割れを発見

4:20 A系起動操作停止

15:25 長期間の停止になると判断し、通報

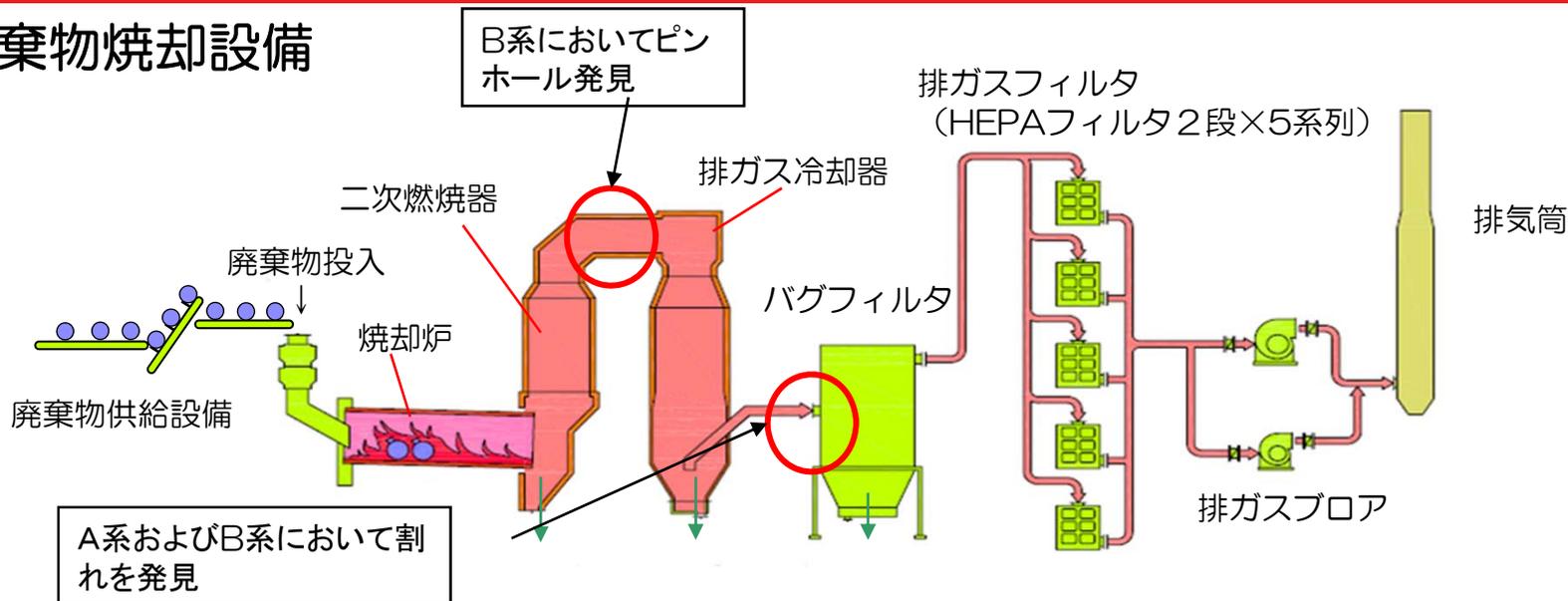
■今後の対応

- ・今後、その他の箇所の確認や原因調査、対策を検討。

TEPCO

設備概要および不具合箇所

雑固体廃棄物焼却設備



| | |
|----------|--|
| 炉型 | ロータリーキルン式*1 |
| 処理容量 | 300kg/h×2系統*2 (24h/日稼動) |
| 焼却対象物 | 雑固体廃棄物 <ul style="list-style-type: none"> ・ 装備品 (タイバック・下着類・ゴム手袋等) ・ 工事廃材 (ウエス・木・梱包材・紙等) 他 |
| 系統除染係数*3 | 10 ⁶ 以上 (バッグフィルタ: 10以上, 排ガスフィルタ10 ⁵ 以上) |
| 稼動開始 | 2016年3月18日 |
| 設置場所 | 1F 5/6号機北側ヤード (建屋寸法: 約69.0m×約45.0m×高さ約26.5m) |

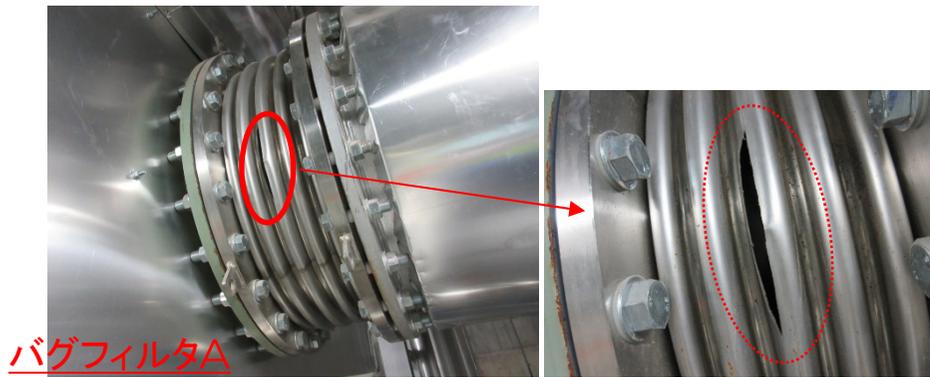
- *1: ロータリーキルン式
傾斜のついた横置き円筒炉の片側から廃棄物を供給し、炉を回転させることで、攪拌させながら時間をかけて焼却処理。
- *2: 2系統
廃棄物供給設備～排ガスプロアまでは2系統 (A系・B系) を設置。なお、排気筒は共通設備として1基を設置。
- *3: 系統除染係数
放射能濃度の低減割合。
10⁶以上は100万分の1以下になることを示す。

現場の状況

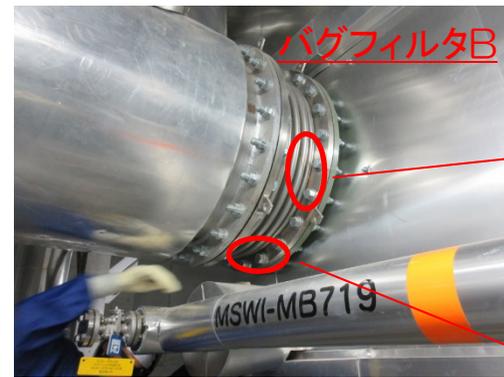


<二次燃焼器B・排ガス冷却器B間伸縮継手>

<ピンホール部>



<排ガス冷却器A・バグフィルタA間伸縮継手>



<排ガス冷却器B・バグフィルタB間伸縮継手>

